

# ウオダス 漁海況速報 No.1440

発行日 平成17年10月3日 <http://www.applenet.jp/aosui/>  
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778  
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

10月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

## ○太平洋スルメイカ長期漁況予報

津軽海峡～道南海域は2004年を上回る。

## ○日本海海況予報

対馬暖流域の50m深水温は平年並みで経過

**小泊** (9月21～25日)

スルメイカ	一本釣	63隻	23,390kg
ウスメバル	一本釣	62隻	1,046kg
タイ	一本釣	1隻	8kg
マダラ	一本釣	1隻	61kg
クロマグロ	延縄	34隻	1,146kg
(1,170kg)	突棒	1隻	24kg

(9月26～30日)

スルメイカ	一本釣	66隻	28,600kg
ウスメバル	一本釣	130隻	2,470kg
クロマグロ	延縄	52隻	3,155kg

**下前** (9月16～30日)  
(取りまとめ中)

**鰺ヶ沢** (9月26～30日)

タイ	一本釣	22隻	151kg
(228 kg)	刺網	1隻	1kg
	底曳網	2隻	76kg
スルメイカ	底曳網	5隻	4,555kg
ヤリイカ	底曳網	2隻	136kg
ワラサ	一本釣	1隻	31kg
(65 kg)	延縄	2隻	34kg
(452 kg)	延縄	2隻	256kg
	底曳網	1隻	4kg
	建網	1隻	2kg
シヨッコ	一本釣	2隻	40kg
サケ	建網	6隻	339kg
クロマグロ(丸)	延縄	5隻	631kg
(742 kg)	一本釣	2隻	111kg
クロマグロ(ヌキ)	延縄	1隻	18kg
ウスメバル	一本釣	1隻	8kg
アジ	建網	3隻	35kg
(379 kg)	底曳網	2隻	344kg

**大戸瀬** (9月26～30日)

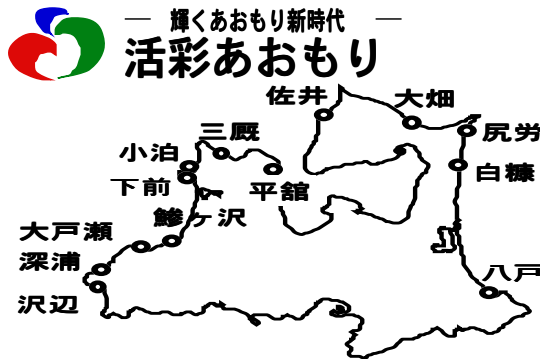
タイ	定置網	4隻	6kg
ブリ	定置網	3隻	6kg
サケ	定置網	6隻	24kg
(38 kg)	一本釣	4隻	14kg
マダラ	定置網	1隻	2kg

**平館** (9月26～30日)  
定置網 50隻

マアジ		162kg
サバ		311kg
イナダ		267kg
タイ		107kg
スルメイカ		966kg
ヤリイカ		36kg

**三厩** (9月26～30日)

クロマグロ	一本釣	19隻	1,407kg
スルメイカ	一本釣	5隻	1,795kg
タイ	一本釣	1隻	2kg
ブリ	一本釣	3隻	18kg
ワラサ	一本釣	1隻	32kg
アブラツノザメ	延縄	1隻	41kg



**深浦** (9月21～25日)

スルメイカ	一本釣	3隻	310kg
-------	-----	----	-------

(9月26～30日)

スルメイカ	一本釣	24隻	24,660kg
(27,995 kg)	底曳網	9隻	3,335kg

**沢辺** (9月26～30日)

タイ	刺網	6隻	6kg
マダラ	延縄	3隻	545kg

**佐井** (9月16～20日)

サケ	定置網	3隻	67kg
----	-----	----	------

(9月21～25日)

サケ	定置網	5隻	34kg
(264kg)	底建網	8隻	231kg

(9月26～30日)

サケ	定置網	3隻	33kg
(383kg)	底建網	5隻	350kg

**大畑** (9月1～30日)  
(取りまとめ中)

**尻労** (9月26～30日)

スルメイカ	一本釣	10隻	3,015kg
サケ	定置網	9隻	2,330kg
ブリ	定置網	8隻	162kg
ワラサ	定置網	6隻	528kg
イナダ	定置網	7隻	5,608kg

**白糠** (9月19～30日)  
(取りまとめ中)

**八戸** (9月26～30日)

スルメイカ	一本釣	218隻	98,565kg
サケ	他定置網	43隻	84,082kg
サバ	巻網	15隻	2,378,103kg

### ◎大型クラゲ情報

他県の状況：9月30日までの情報

- ・9月23～29日に山形県温海町から遊佐町沖の底曳網で数～数10個体のクラゲが毎回入網
- ・9月23～29日に鶴岡市地先の定置網で、0～30個体入網し、9月29日以降入網数が増加
- ・9月23～26日に男鹿半島地先の定置網で10～100個体入網  
(資料：(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所のホームページ <http://www.jsnf.affrc.go.jp>)

青森県内の状況

- ・9月28～30日に深浦町地先の定置網に20～80個体/網(傘径100cm)が入網
- ・9月25～28日 風合瀬から鰺ヶ沢にかけて、底曳網に5～24個体(傘径100cm)が入網
- ・9月25日 むつ市脇野沢の小型定置網に20～130個体(傘径100～120cm)入網
- ・9月25～26日 風間浦村蛇浦、むつ市関根の小型定置網に10個体/網以下(傘径50～100cm)入網
- ・9月29日 むつ市関根の底建網に合計167個体(25ヶ統、傘径60～100cm)入網
- ・9月30日 むつ市関根の小型定置網に19個体(4ヶ統、傘径60～80cm)入網
- ・9月28、30日 東通村尻屋の定置網・小型定置網に10～100個体(傘径100cm)入網
- ・9月28日 東通村猿ヶ森から老部川沖の小型定置網に30～300個体/網(傘径70～120cm)入網
- ・9月27日 六ヶ所村泊地先の小型定置網に180個体が入網
- ・9月25日 六ヶ所村出戸地先の定置網に900個体(傘径80～100cm)入網
- ・9月29～30日 六ヶ所村出戸地先の定置網に30～200個体(傘径80～100cm)入網
- ・9月29～30日 六ヶ所村出戸地先の定置網・小型定置網に30～364個体(傘径80～100cm)入網
- ・9月27日に百石町地先の小型定置網に400～500個体が入網

**沿岸各地の水温**

日本海 21℃台  
陸奥湾 21～22℃台

(9月26日～30日)  
津軽海峡 20～22℃台  
太平洋 18～20℃台

今期は全地域で降温しました。平均前回差は-0.7度となりました。

昨年と比べると日本海で低く、太平洋で平年並み、津軽海峡、陸奥湾で高くなっています。平均昨年差は+0.5度です。

平年と比べると日本海側、太平洋側が平年並み、他の地域でやや高めとなり、平均平年差は+0.6度となりました。

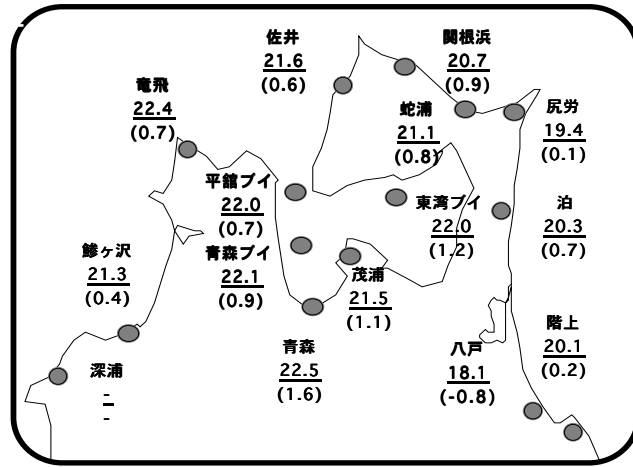


図 定地水温 (9月26～30日) 平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鯨ヶ沢	21.3	+0.4	-0.7	-1.3
竜飛	22.4	+0.7	+1.5	-0.9
佐井	21.6	+0.6	+1.0	-0.7
青森	22.5	+1.6	+1.2	-0.3
蛇浦	21.1	+0.8	+0.6	-0.8
関根浜	20.7	+0.9	+0.5	-0.7
尻労	19.4	+0.1	-0.2	-1.1
泊	20.3	+0.7	+0.8	-0.7
八戸	18.1	-0.8	-1.6	-1.4
階上	20.1	+0.2	+0.2	-0.8
茂浦	21.5	+1.1	+1.1	+0.5
平館ブイ	22.0	+0.7	+0.9	-0.6
青森ブイ	22.1	+0.9	+1.1	-0.4
東湾ブイ	22.0	+1.2	+1.1	-0.4
平均	21.1	+0.6	+0.5	-0.7

◎試験船情報

- 試験船開運丸は15日から太平洋のあいか漁場調査を行う予定です。
- 試験船青鵬丸は今週、日本海においてROV調査を行う予定です。
- 試験船東奥丸は7日から太平洋のいか類漁場調査を行う予定です。

◎いか類漁場調査結果 9月22日から9月28日にかけて太平洋及び日本海で行われた試験操業の結果は右表のとおりです。岩手県釜石沿岸でアカイカが、青森県舩作沖でスルメイカの漁獲が伸びました。また、これ以前の調査で襟裳岬以東にスルメイカの魚群が見られることから、津軽暖流の張り出し収束とともに津軽海峡から日本海へ回遊してくるものが増えてくると考えられます。

東奥丸いか類漁場調査 (太平洋、日本海)

操業月日	操業位置	魚種	漁獲尾数 (*)	魚体(cm)**	表面水温 (°C)
9月22日	40-00、142-59 (久慈沖)	スルメイカ	1	23	18.4
		アカイカ	13 (1.4)	25~37 (28)	
9月23日	39-28、142-18 (釜石沖)	アカイカ	797 (14.0)	20~33 (26)	21.0
9月24日	39-50、142-12 (宮古沖)	スルメイカ	717 (17.9)	17~25 (21)	20.4
9月27日	41-50、141-30 (恵山沖)	スルメイカ	628 (11.6)	15~26 (21)	21.6
9月28日	40-53、139-22 (舩作沖)	スルメイカ	1487 (33.0)	13~23 (19)	22.4

\* 釣機1台1時間あたりの漁獲尾数 \*\*主となる大きさ

◎平成17年度第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報

北海道水産研究所は9月28日、関係機関の情報をとりまとめ標記予報を発表しました。今後の見通し (2005年10～12月) 対象魚種：スルメイカ、対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、対象魚群：冬季発生系群 (2005年級) ※魚体の大きさは外套背長で表示

1. 常磐～三陸海域 (いか釣り、底びき網、定置網)
  - (1) 来遊量：2004年並みかやや下回る (2) 漁期・漁場：期間を通じて漁場が形成される (3) 魚体：2004年より小型。11月では22～24cmが主体
2. 津軽海峡～北海道南海域 (いか釣り、定置網)
  - (1) 来遊量：2004年を上回る (2) 漁期・漁場：期間を通じて漁場が形成される (3) 魚体：2004年より小型。11月では22～24cmが主体
3. 北海道東部～根室海峡周辺海域 (いか釣り、定置網)
  - (1) 来遊量：2004年を上回る (2) 漁期・漁場：北海道東部海域は10月まで根室周辺海域は11月が中心 (3) 魚体：2004年より小型。11月では22～24cmが主体

●平成17年度第3回日本海海況予報 (抜粋)

(独)水産総合研究センター日本海区水研は

9月28日、関係機関の情報をとりまとめ以下のような予報を発表しました。

◎今後の見通し (2005年10月～12月)

- (1) 能登半島北西の暖水域は、徐々に東に移動する。富山湾沖及び津軽半島沖の暖水域は、消滅する。山形沖の暖水域は、北に移動する。積丹半島沖の暖水域は、西に移動する。
- (2) 佐渡島沖及び入道崎沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、”やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも”平年並み”で経過する。

太平洋の海況 (9月28～29日)

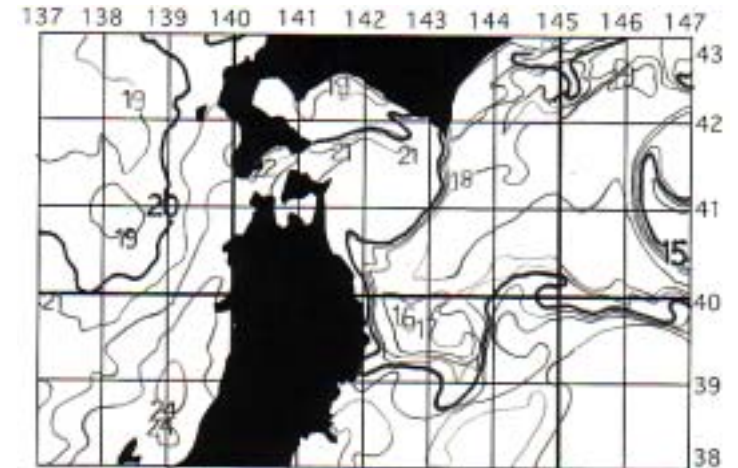
概況；沿岸水温は20℃台。

- 太平洋沿岸域の表面水温 20℃台で、前回より1度ほど低くなりました。昨年同期と比較するとほぼ同じ水温となっています。
- 津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 20℃等温線で見ると東経143度10分付近までで、張り出しは前回よりわずかに弱くなっています。
- 親潮系冷水の南下 20℃等温線で見ると北緯38度40分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

日本海海況 (9月28～29日)

概況；沿岸水温は22℃台。

- 日本海沿岸域の表面水温 22℃台で、前回より1度ほど低くなっています。昨年同期と比較するとほぼ同じ水温となっています。



資料：(社)漁業情報サービスセンター 北部太平洋海況速報 第52号9月30日